

# しょうずか婆さん (釜口水門から小田井交差点の旧道)

名主夫婦の墓に建てた石像

自転車で諏訪湖を1周する時、歴史やまち歩きが好きな私はサイクリングロードをそれることがあります。岡谷市湊の釜口水門から小田井の交差点までの旧道もそんなことがきっかけで見つけました。入口にある高島藩の石工作とされる灯籠を迎えられて進んで行くと、今流行りの昭和レトロを感じさせる雰囲気が続きます。しばらく進むと、小高い丘の上には日吉社の社が見えてきます。実はこの神社の入口にしょうずか婆という珍しい名の石像があります。

説明板によると、この世とあの世の間にある三途の川のほとりに亡者の衣服をはぎ婆さんを脱衣婆だつえはばといひ、この脱衣婆のことを三途河婆さんと呼ぶとのこと。石像の裏に「伝十郎為夫婦」と刻まれていて、元禄5(1692)年に建てられました。火災によって村の重要書類を灰にしてしまった責任を感じ、西国巡礼に旅立ち消息を絶った名主夫婦の為に、この石像を造り2人が衣服をはがされないように祈ったとのこと。日吉社は小高く、岬のように突き出ているので諏訪湖まで見渡せます。ここよりさらに上に鎌倉道が通っていたと伝わっている。諏訪湖の水位が高かった時は本当に岬だったのかもしれない。付近には文中にある鎌倉道とされる石像などがあります。興味のある方はそちらへも足を延ば



しょうずか婆さんの石像  
岡谷市教育委員会  
平成25年8月 建立

日吉社の入り口に立つ「しょうずか婆さん」の石像



してみるのもよいかもしれません。  
—— 随時掲載  
詳しい場所などの問い合わせは  
諏訪塾事務局(電話070・83  
23・2107)へ。

- ・ぶらり諏訪塾の冊子は  
諏訪市観光案内所
- ・JR上諏訪駅内
- ・れすとらん割烹いずみ屋  
(諏訪市諏訪)
- ・書店「言事堂」  
(諏訪市末広)
- ・すわ大昔情報センター  
(諏訪市博物館内)
- ・諏訪書店(通販のみ)  
57・0997  
(諏訪市中洲神宮寺)  
で販売中です。
- ・柏屋カフェ&ギャラリー  
(諏訪市中洲神宮寺)

今回の筆者



波邊考洋さん